

平成 30 年度 第 1 回  
周南市大田原自然の家運営協議会  
会議録

日 時：平成 31 年 3 月 18 日（月） 19 時 00 分から  
会 場：中須市民センター 2 階会議室

## 【会 議 次 第】

- 1 開 会
- 2 周南市民憲章唱和
- 3 課長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 事務局紹介
- 6 議 事
  - (1) 平成29年度事業報告並びに利用状況について
  - (2) 平成30年度事業状況について
  - (3) その他
- 7 閉 会

## 平成30年度 第1回周南市大田原自然の家運営協議会 会議録

日 時 平成31年3月18日(月) 19時00分 ～ 19時40分  
場 所 中須市民センター 2階会議室  
出席委員 7名(原田 貴司、飯田 唯志、内山 昭博、河村 紀男、佐伯 町子、  
廣 實 力 藤本 幸子)  
事務局職員 4名(生涯学習課：岩崎 達也、中村 隆志、花野 勝則)  
(公益財団法人周南市ふるさと振興財団：松永 和則)  
傍 聴 人 なし

### 会 議 議 事 録

#### 1 開 会

#### 2 周南市民憲章唱和

#### 3 課長あいさつ

#### 4 会長あいさつ

#### 5 事務局紹介

#### 6 議 事

- (1) 平成29年度事業報告並びに利用状況について
- (2) 平成30年度事業状況について  
関連している事項であるため、一括して事務局より報告とする。
- (3) その他は、その後に報告する。

会 長：ただいま事務局から、様々なプログラム内容についてご説明いただきました。それでは事業の内容報告等で質問等がありましたらご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

委 員：30年度のところで、7月の集中豪雨等が無ければ利用人数が1万人を超えたというご報告がございましたが、雨が降ったことによって利用できなかったのは、それは道路が原因ですか、それとも参加者が、安全であるけども行かないと言われたんですか、それとも危険なところで落石があったんですか。そういったところをお聞かせいただけますか。

事務局：菅野ダム管理事務所から大田原自然の家の間の国道が、土砂崩れで通行できない状態になりました。大型バスでの利用を考えられていた団体だったので、結局迂回していくのにバスでは無理だということになりました。分乗する案も検討されたよ

うです。ただ須金の方に迂回する道路は一車線なので、リスクが高いということで、安全面を考えた判断でした。

委員：つまり、アクセス道路の障害で、大田原自然の家に行けなかったということですね。

事務局：その通りです。

会長：その他に何かございますか。(1)(2)の内容についてはよろしいでしょうか。事務局の方からは何か補足説明はございますでしょうか。

事務局：先程、集中豪雨や猛暑によって利用者数が減少したことについて説明いたしました。教育委員会は、台風が発生した時などには必ず会議をしまして、危険があると思われるときは、利用を見送って頂くよう、利用者に対してお願いをすることがあります。結果的に台風等の影響がない場合もございますが、災害に巻き込まれてはいけませんのでそういったやりとりをしております。道路のことだけでなく、利用者の安全を考慮したためにそういった結果になっております。

会長：ありがとうございます。災害のことですので予測が立ちませんので、来年度は来年度でその都度、対応をしていかなければならない面があるかなと思います。また、その際には随時情報提供等をよろしくお願いいたします。では、(1)(2)については以上で終わりたいと思います。

会長：では、(3)にその他がございしますが、そのことにつきまして事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。

事務局：お手元の資料の中に31年度の主催事業の資料が入っています。31年度も子供たちにとって「楽しさいっぱい、学びがいっぱい」を提供するために、いろいろな事業を実施していきたいと思っておりますので、委員の皆さんには啓発についてご協力をよろしくお願いいたします。

会長：31年度の予定表ということで資料を出していただいておりますが、こちらについて委員の皆さまから何かございますでしょうか。

委員：(意見なし)

会長：ありがとうございます。では31年度の事業以外で何かございますでしょうか。

委員：(意見なし)

会長：ありがとうございます。事務局から他の事務連絡はございますか。

事務局：特にありません。

会長：では、(1)から(3)以外で何かございますか。

委員：(特になし)

会長：それでは、以上で議事は終了させていただきたいと思っております。皆様のお蔭で議事を円滑に進める事ができました。ありがとうございました。それでは、会の進行は事務局にお返しします。

事務局：会長ありがとうございました。それでは、最後に皆様からイベントの告知でありますとか、ご意見等がございましたら、発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

委員：地区で小学生を対象に、しめ縄作りを行っています。あれを大田原でやってみたらどうでしょうか。最近の子は縄をなえませんが、経験させるにはおもしろい

かなと思います。

事務局：ありがとうございます。その他にございませんか。

委員：配布していただいた50キロを歩く交流の石碑のマップですが、これは歩く旅に活用されているのですか。

事務局：はい。全工程がルートの中にポイントとして示してあるので、それをたどって歩きます。棚田の所は、素敵な景観と道もいっぱいありますし高台から子どもたちの動きが全部見えます。そのため、子供たちの安全管理ができます。また、この活動は子供たちの合意形成を図る良い手法だと思っております。地図を用意して子供たちが主体的にどのように巡るかを決めて進んでいく、という活動は大変好評でございます。

委員：大田原自然の家の行事ではないですが、地図を使って毛利のゆかりの地などを歩く行事が市報などにも載っています。こういうのに興味がある方がいると思うので、この地図をオープンにしていただけたら、参加してみたいと思われる方や行ってみたいと思われる方がいるのではないかと思います。

事務局：お配りした地図は、施設の職員が作りました。興味のある方にご活用いただけたらと思います。

委員：中須地区から署名を市に出して、大田原自然の家の移転先をぜひ中須小学校へ、中須地区へという要望を出していると思います。その後どのような方向に進んでいますか。

事務局：2月の初めだったと思いますが、この件について、中須地区に伺って回答書をお渡しするとともに、お話をさせていただきました。その中で、大田原の地を離れることは苦渋の選択であったことや決定していることをお伝えしたところです。このことについて、教育委員会の中では現在、中須地区の中で移転するのが良いのか、新設が良いのか、あるいは他の施設との複合が良いのか、などについて考えているところでございます。先日のお話しの場で、教育部長がゼロベースで検討すると申し上げましたが、頂戴した要望を十分そしゃくして、それをもって考え直したいと思っております。どこの地になるかは結果としてあるかとは思いますが、頂戴したご要望を重く受け止めて検討に入っているという状況です。結果はまだ出ておりませんので、この場で申し上げることはできませんが、場所を変えるということについては決定しているところでございます。

委員：大田原自然の家は棚田と関係が深いし、大田原自然の家が中須だから何とか利用できている。新しく施設を作ると多くの費用がかかるし、中須だったらいろいろなことができると思います。

事務局：私がスポーツ少年団の世話をしていた頃、毎年、大田原自然の家を使わせていただきました。当時の所長さんに厳しいところは厳しく、優しく育むところは育むという方針で、さまざまな指導をしていただきました。先程、棚田の話もありましたが、この施設が大田原の地にあったということが自然の家をここまで大きなものにしてきたと感じています。もちろん地元の皆さまのご協力があり、大学生ボランティアがたくさん来て、そういった中で今の自然の家がある、ということも感じています。苦渋の選択ということで、大田原からは離れるということにな

ってしまいますが、その点も考えながら方向性を見出していきたいと思います。  
何処へというのが今申し上げられないですけど、お示しできる段階になりましたらまたお話いたします。

事務局：その他に何かございますか。無いようですので、以上で平成30年度第1回周南市大田原自然の家運営協議会を終了したいと存じます。

7 閉 会
-------